

平成 27年 10月

# 議会と語り会

平成27年10月28日 29日 30日 実施

## 町民からの 質問・要望等への 回答 【完全版】



**永平寺町議会**

お問合せ：議会事務局 TEL 61-3950

## 「議会と語ろう会」町民からの質問要望への回答

### ○議会活動について

**問：前回の町議会選挙における投票率低下をどのように判断しているのか。削減すると、小集落では出馬が困難になるのでは。**（生活改善センター）

答：小集落では、出馬が厳しくなると感じる。

**問：住民投票実施がないので議会で決定する。議員定数が議会の考え方で決まるのではどうかと思う。報酬も決定するのか。地元へ足を運び、聞きに来るべきだ。**

（生活改善センター）

答：・議会で決定すべきと自覚している。  
・判断する前提として、率直な意見を聞きたい。

**意見：前回の選挙では地区からの出馬ができず、その結果として行政の援助もなかったように思う。**

（生活改善センター）

**問：議員定数の問題は、議員各自の覚悟である。町民に迷惑をかけないことを前提に決定期日を提示すべきだ。**

（生活改善センター）

答：今回は3月頃決定する。

**意見：前回は議員定数を16名にしようと思ったが、実現ならず落胆した。**

（生活改善センター）

**問：資料にある各町の報酬額提示の意図は。**

（生活改善センター）

答：参考資料として提示した。

**意見：政務活動費は、透明さが証明される場合は認めても良い。**（生活改善センター）

答：実施の際は、領収書添付や活動内容の証明等を義務付ける。

**意見：議員報酬の総額から政務活動費を捻出すべきだ。**（生活改善センター）

答：青年世代の議員出馬を期待すると、一定の報酬は必要だ。

**意見：70歳以上、在職4期以上の出馬制限、出さないほうが良い。**（生活改善センター）

**意見：福井市議会議員の人口割合（有権者数）と永平寺町議会議員の人口割合による報酬額を比較すべきだ。**（生活改善センター）

**問：各議員の定数に対する所見を聞きたい。**（生活改善センター）

（※ 答：主な所見は7ページをご覧ください）

**意見：この時世、減員すべきである。報酬は現状維持。**（生活改善センター）

**意見：14名が妥当。政務活動費を活用して町民のために行動すべき。**（生活改善センター）

**問：報酬を評価ポイント制にすべき。**（生活改善センター）

答：誰が評価するのが課題。

**問：・定数減は正しくない。**

・合併したので定数は現状で良い。

・減員にすると若い人が出にくくなる。チェック機能や提案する能力が低下し、勉強する時間取りにくくなる。

・議員の報酬は安すぎる。

答：・議会行財政改革特別委員会で討議している。

・3常任委員会は各6名、予算特別委員会は全員（18名）で構成している。

・定数減により、効率的な議会活動を目指す。

・若い人が出馬し易いように、報酬の適正化を検討している。

**意見：報酬の安さは認める。定数減では若い人の出馬に結びつかない。**（ざおう荘）

**意見：各町の中では定数は多くないが、市から見ると多すぎる。定数を減らすべき。**（ざおう荘）

**問：定数削減すれば、報酬を上げてよいのか。**（ざおう荘）

答：報酬は上げてよい。

**意見：議員報酬は安い。安すぎると議員活動は弱くなるが、上げると住民の目は厳しくなる。**（ざおう荘）

**意見：永平寺町議会の議員活動は他の議会と比較して断然に良い。**（ざおう荘）

答：・本議会での一般質問は全員行っており、事務事業評価も実施している。

- ・議員活動の調査研究には、経費が生じる。政務活動費の支給を実施した場合、透明性は守る。

**問：なぜ政務活動費は永平寺町にはないのか。** (ざおう荘)

答：条例を整備すればできる。

**意見：若い人が選挙に出易いように、議員定数は削減して報酬を上げるべきだ。民間では、各委員会の掛け持ちは当たり前だ。** (ざおう荘)

答：チェック機能や、討論する為にも最低限度の議員数は必要だ。委員会は2つでも可。本会議（全議員）での対応も可。

**意見：政務活動費は認める。** (ざおう荘)

**問：以前にも議員定数がテーマの時もあったが、自然消滅となった。町民の意にそって、町民に迷惑をかけずに、議員が決断するのが議会の力ではないのか。** (消防庁舎)

答：・少数精鋭が良いのか疑問に感じる。  
・定数減では民意吸収が落ちる。  
・定数減では執行者に対して監視が甘くなる。

**意見：定数を削減し報酬を上げて良い。議会活動の実績を示せ。** (消防庁舎)

**意見：地区にいる議員の意見が異なると、地区活動に支障が出る。** (消防庁舎)

**意見：現状維持で良い。自民党政権による政策実施、安保法制の採決を見たら、定数減では民意が反映されない。** (消防庁舎)

**意見：町民の政治に対するレベルが低すぎる。** (消防庁舎)

**意見：全国の類似町村の実例から14名が妥当では。議員一人ひとりの活動を前提に報酬は上げてもいい。政務活動費は月1万円程度でその都度支払った方が良い。** (ふるさと学習館)

**意見：議員定数は14名程度が妥当。合併して10年以上経っても旧町村からの人数バランス、地区意識だけに拠って立つことを意識するようではいけない。町全体のことを考えて行動すべき時期ではないか。** (ふるさと学習館)

**意見：議員報酬が低い金額では、若者や女性は出てこないと思う。議員報酬は現状比+**

2万円、計24万円程度に引き上げ、もっと仕事をしてほしい。政務活動費は制限を決めて、一律ではなく実費を支給。月額1万円以内。 (ふるさと学習館)

**問：議員定数削減は土俵を小さくし、町政のチェック機能を狭くするものであり、現状でいいのでは。** (農家高齢者創作館)

答：議会でも現状維持、2人もしくは4人削減の意見もあり、町民の意見を聞く場として今回このテーマを提案した。

**問：定数減は何を基準として提案したのか。目的は予算削減か。また、若い人が今の報酬では生活できないというが、行政または、議会も若い人の声を吸収し応えるべき。また、それが議会の仕事ではないか。** (農家高齢者創作館)

答：永平寺町も合併し10年を迎えるが、合併時の約束である交付税が5年後には毎年約6億円削減される中、議会としても行財政改革の一環として考えていかなければならないと思う。

**問：議員定数については他の町と比較して決めるのか。報酬については第三者会議で決めてはどうか。役場も同じで行政改革で職員数減になり、その分、個人の仕事が増えたからといって給料を上げられるか。** (農家高齢者創作館)

答：議員定数、報酬などについても答えがない。他市町の人口などを参考に決めていくのが実情。

**問：国会議員においても少数の流れで、定数削減問題は難問。本町議員を見ていると忙しく思わない。本日出席議員一人一人の定数についての考えは。** (上志比支所)

(※ 答：主な所見は7ページをご覧ください)

**意見：国会でも議員定数見直しを先送りしているが、先送りはダメ。精鋭主義がいいと思う。** (上志比支所)

**意見：議員定数については先送りすべきでなく見直しすべき。現状でいいはずがない。議員自身が(他自治体と比べ)一歩でも二歩でも先に出ないといけないと思ってくれないと先に進まない。地区の代表としてだけではなく、(全町的な)団体から支持されるような議員・候補者になるべき。** (上志比支所)

**問：議会として何名の削減を考えているのか。合併の時に町長選挙と同時選挙にする話があったがその後どうなのか。** (農業構造改善センター)

答：委員会において、議員一人ひとりの意見を聞いている。語る会で町民の声を聞き、来年の3月には結論を出す。同時選挙にしなかったのは、町長選挙が表に出すぎ、議員選挙の関心が薄れてしまうことが考えられた。

**問：県内他町を参考にしているのか。** (農業構造改善センター)

答：他町の議員数も参考に検討していく。

**問：若い人が立候補しにくいと聞いている。定数を削減し、その分の報酬を当てるとの話があるが。** (農業構造改善センター)

答：前回の語る会でそのような話があった。削減については、地域によって考え方が異なる。若い人が立候補しにくいという話もあるが、定数減での報酬の引き上げは考えにくい。

**問：定数削減の前に、議員としての活動や中身のことが大事ではないのか。町民が見ている。** (農業構造改善センター)

答：勉強しているが町民には伝わらない。一人年間90～130日以上活動しているので議会だよりを見てほしい。また、議員全員が一般質問をしている。

**問：議会はチェック機能を果たしているのか。織物会館の跡地のことや道の駅について、疑問である。** (農業構造改善センター)

答：行政が取り組んだ事業は議会で議論をしているが、町民には伝わっていないようだ。公民館の機能を取り込み、県の補助事業を生かす方法等を提案している。

**問：織物会館、古い物を生かすのかと思ったが、行政のツツバリを、議会がなぜとめられないのか、議会の無力化では。** (農業構造改善センター)

答：旧松岡時代、大正時代の古い物件として残すつもりであったが、20年以上放置していたため解体となった。現在の公民館が老朽化してきたため、公民館としての機能ができる施設として活用しては…と提案している。

**意見：議員一人ひとりが、抱負や自身の一年間の目標、活動内容等を検証し、広報誌等に掲載しては。** (農業構造改善センター)

答：個人はもとより、議会としても大事なこと。また、町の事業の検証も必要である。

**問：議会のケーブルテレビでの、放送内容(一般質問)のお知らせは、早くできないのか。** (農業構造改善センター)

答：区長を通じ、各戸に配布している。一般質問の通告の締め切りの関係等もあるので、今後検討したい。

**問：・議会費については、ある程度民主主義のコストとして必要だ。民主主義は、時間もコストもかかるもの。**

- ・議員数が少なすぎるのはどうか。多様な意見で監視するのが議会ではないか。
- ・議員さえ減らせば無駄使いが防げるのかどうかは疑問だ。

- ・町の金の使い方こそ考えるべきで、議会のチェック機能のためには議員の数も必要だ。  
(サンサンホール)

答：・報酬は適正に、定数もそれなり必要だというのは同感。  
・定数減となると、身近なところに議員がいなくなることもある。  
・議員活動には多様性が必要。定数が減ると若者や女性が出にくくなり、良いとは思わない。  
・削減すると投票率が上がるのかも疑問。  
・数が少なくなれば、なれ合いになりやすくなり弊害も大きい。  
・本町議会は、他と比べても活発だ。  
・今の数が適正か。県内の議員一人当たりの人口は900人程、本町は1,076人、現状でも妥当だが全国的な流れもある。  
・行政の監視機能として、3つの常任委員会も削減だと減ることになる。  
・みなさんの声を参考にしたい。

**問：議員定数、報酬についてどう思っているのか、議員個々の考えを示してもらいたい。**  
(開発センター)

(※ 答：主な所見は7ページをご覧ください)

**問：・議員の活動が90日とは、1年間の1/4の活動日数か。  
・地元に議員がいなく、地域のことで相談したいことがあっても頼む人がいない。  
・若い人が出にくいのは、今の選挙のやり方が原因ではないのか。**

答：・議員自らが地域に入り、いろいろ聞くことが必要だ。  
・私は、地元のこと、事故のことなど区長とともに伝えている。  
・今世論調査でも、ボランティア活動に参加したい思いを持つ若者が多い。それが政治活動にはつながってきていない。

**意見：議員が、このように地域で意見を聞くことはなかった。これは良いことでありがたい。**  
(開発センター)

**意見：政務活動費の支給は必要だと思う。定額ではなく活動しやすいようにすべきだ。**  
(開発センター)

**意見：勤めながら議員に出られる会社もあるがそんな会社は多くない。若い人も働きながら出られるように示していくべきではないか。**  
(開発センター)

**問：・職を止めろというのでは若い人は出られない。外国ではボランティアもある。仕事をしながらでは、なかなか出にくい。夜間や休日に議会をやるなど制度も**

**考えないと。**

- ・減らさなくても良い議会議員のあり方や活動こそ考えるべき。
- ・安易に削減するな。少なくなると特権化したりなれ合いになる。行革というがこれは別。
- ・議員はボランティアでできないものか。 **(開発センター)**

答：フランスなどでは、自治体の規模が小さくボランティアでやっているところもあるが、本町議会のような状況ではボランティアにはなりにくい。特に事務局体制を整え、議員がこれならと可能と判断できるというような議会制度にしなければ難しい。

**問：町内一区でやっている選挙を人口割とか、区割りをしてはどうか。(開発センター)**

答：政令市などでみられるが、この規模での自治体では無理なのではないか。合併時の1回だけあったことがある。

**意見：議会への関心を高める意味でも、住民投票制度を設けて住民に問えるようにすべきだ。愛知県での図書館の指定管理に関する住民投票もあったが、やり方を工夫したり住民への問いかけを行うことで町政にもっと関心を持ってもらうことにつながるのではないか。 **(開発センター)****

答：旧松岡町では、合併の住民投票を全国で何番目かにおこなったことがある。

住民への問いかけは大事。愛知県の高浜市では、常設の住民投票条例を設けているが、本町では議会の大きな課題でもある。

**意見：人口減少の中、議員は後継者をどうするのか考えるべきだし、若い人へのアピールが必要だ。 **(開発センター)****

#### 《議員定数に関する各議員の考え》

- ・全国の自治体予算の議員経費は、約1%を占めている。2～3名の減員。
- ・現状維持、減員すると監視が低下する。
- ・議員の質向上ができれば14名で可能。削減することで資質向上。
- ・議員活動を自己評価した上で決定する。減員も考慮している。
- ・他の町と比べると削減もやむをえない。若い人や女性が出られる環境づくりも議会の責任。
- ・委員会7～8名で、2つの委員会にするなど議会活動に支障のないよう議員定数を減らす。
- ・定数を削減すると女性や若い人の出馬が厳しくなる。定数は現状維持が良い。

## ○地域防災力の向上を語ろう

**問：長雨・豪雨等の対応において、議会の初動活動はあるのか。**（生活改善センター）

答：今後、先進議会を視察し検討する。

**問：防災メールの活用を工夫すべきだ。問題もある。**（生活改善センター）

答：行政に伝える。

**問：防災メールの最初の発信は区長にすべきでは。民生委員が最初では順番が違うと思う。**（生活改善センター）

答（行政）

防災メールの種類には、次のようなものがあります。

① 国の気象庁から自動的に発信される、Jアラート（全国瞬時警報システム）

このメールは、永平寺町に警報等が発令された時に、永平寺町防災メールに登録されている方の携帯電話・スマホメールに、定型文が配信されるものです（当地域に気象警報がでました。今後の気象情報に注意してください）。

② 永平寺町防災メール

このメールは、永平寺町防災メールに登録されておられる方のみに、防災・災害・気象情報等を配信するものです。

③ 緊急速報メール（エリアメール）

このメールは、永平寺町管内（エリア）に居られる全ての方の携帯電話・スマホメールに、避難準備情報、避難勧告、避難指示の避難情報等を、永平寺町が強制的に配信するものです。本年の防災訓練の時には、このメールを配信し、情報伝達に活用しました。

以上の3通りですが、いずれも一斉に配信されるもので、区長や民生委員といった順番制にはなっておりません。

**問：防災グッズの補助を検討すべき。**（生活改善センター）

答：補助率の見直しを進言する。

**意見：危険予報、避難指示等早く出すべき。**（生活改善センター）

**意見：自主防災委員になったが、区長がリーダーとして兼務しているのではうまくいかない。2～3年で交代するので、専門的な人を任用すべきだ。**（ざおう荘）

答：行政もその方向で認識している。災害を想定しても対処すべき問題だ。

**意見：当町の防災力、県内での水準は良い方だと思うが、さらに防災力を強化することで、安心感をアップし、他の自体にも誇れるような町にしてほしい。**（ざおう荘）

**問：原発事故による避難受け入れ先となっているのか。来た人をどこに入れるのか。  
生活支援も必要になるのに、対応策を実施すべきだ。** (ざおう荘)

答：南越前町から避難してくる。

**意見：防災士を増強しているが、予算づけを考慮の上、防災士の会等を設置すべきだ。**  
(ざおう荘)

**問：防災訓練の際、サイレンが鳴らなかったのでは。** (消防庁舎)

答：鳴らさなかった。

**意見：民生委員も日中に不在の時がある。また、災害に際しても、女性委員では助ける  
ことができない。** (消防庁舎)

**意見：避難対策も地区によってばらつきがある。例えば、ヘルメットの支給の有無など。  
また、上合月地区では、ひとり住まいの家がわかる地図がある。** (消防庁舎)

**問：各地区において自主防災の目標を立てての訓練実施を。例えば、竜巻・台風洪水・  
地震などを想定し、専門的人材を育成するなどの対応策を。**

(ふるさと学習館)

答：今年度より自主防災組織地区リーダーを委嘱しており、今後、育成・充実強化に  
努める。

**問：各地域の消火栓は誰が要望したのか把握してないが、自主防災組織で消火栓のホー  
スなど管理が適正に行われていないのでは。** (ふるさと学習館)

答：地域により消火栓取扱いなどの自主防災活動に差があると思うが、高齢者でも容易に使用で  
きる50ミリホースなどの活用も含め、啓発していく。

**問：行政からの自主防災関係で区長と各地区の自主防災隊長への通知文が統一されてい  
ない。** (農家高齢者創作館)

答 (行政)

自主防災関係の通知については、27年度に、各地区の自主防災組織リーダー（代表  
会長又は、隊長）に委嘱された方だけに、通知している。

自主防災組織リーダーの中には、区長と兼務の方もおられるため、ご指摘のような事  
も起こり得るが、あくまで自主防災組織リーダーとしての通知とご理解ください。

今後とも、自主防災関係の通知については、自主防災組織リーダーのみの配布とさせ  
ていただく。

**問：地震または河川の洪水などの災害を想定した場合、地区・地域によって対応策が違  
う。地域に合った防災訓練を。**（農家高齢者創作館）

答：現在、町内90集落で自主防災組織が設立されているが、活動については格差があ  
ると聞いている。今後の対応策についても行政と対応していく。

**問：戸別受信器の感度が悪く聞きとれない。地域でアンケートを取り調査してほしい。  
（農家高齢者創作館）**

答：地区によっては全戸に戸別受信器が配置されているが、町ではこしの国ケーブルテ  
レビで緊急に知らせる整備を進めている。（平成28年1月より実施）

**問：永平寺ダムが地震での決壊を想定した場合、地域により対応策は違う。県・町のマ  
ニュアルはあるのか。**（農家高齢者創作館）

答（行政）

ダムの耐震設計は、河川砂防技術基準及び河川管理施設等構造令に定められている  
「震度法」にて計算され、通常より4倍の安全率を確保しており、決壊は想定して  
いない。

地震発生後の対応については、県の水防計画に基づき震度4以上の地震が観測され  
た場合、管轄する土木事務所が点検を行い、水防活動が必要と判断されるときは速  
やかに水防体制をとることとしている。

**意見：地元勤めているが地元企業を巻き込んだ防災訓練を。**（農家高齢者創作館）

**問：一級河川南河内川は、現在改修工事が施工されているが、計画の上流も天井川で大  
雨の洪水時は水かさも増え災害が起きやすく改修を要望する。**（上志比支所）

答：実情は把握しているが、県が施工する工事であり、町を通し県に要望していく。

**問：上志比地区の避難場所はサンサンホールになっているが、道中に増水時であっても  
改修されていない一級河川河内川を渡らなくてはならない。また、避難場所のサン  
サンホールの山側には山肌大きい岩があり、大雨、地震などで崩壊しないかが心  
配だ。**（上志比支所）

答：地域特有の危険箇所など、事情に合った訓練も行政に要望する。

**問：一人暮らしの戸数が本町には462戸あり、防災訓練においても要支援者の避難も  
含め町としてのマニュアル作りを指導してほしい。**（上志比支所）

答：「自助・共助・公助」の中で、より詳しく地域に合ったマニュアルづくりを行政に  
伝える。

**問：大雨時の山間地、積雪にしても松岡地区と上志比地区では環境が異なる。地区ごと  
の災害発生時の住民への周知は、同報無線のある支所で行うと思うが、今、支所を**

**取り壊すという話がある。現状はどうなっているのか。** (上志比支所)

答：施設再編計画の中間報告で、支所機能を維持しながらの支所取り壊しの問題は、議会も説明を受けたが、行政として地区住民との話し合いの場をつくと報告されている。

**意見：防災行政無線が聞こえにくい、また聞こえないときがある。繰り返しの回数を多くするか、ボリュームをあげられないのか。防災行政無線の放送内容がとても分かりにくい。** (農業構造改善センター)

**問：防災行政無線を地域の情報の発信に使えないのか。** (農業構造改善センター)

答：隣接地域との関係もある。乱用は控えるようにしている。

**問：先日の訓練による放送は緊迫感がなかった。最初の信号、チャイムではなくサイレンにはできなかったのか。また、緊急時にはサイレンなのか。**

(農業構造改善センター)

答：訓練では止めていると聞いている。

**問：昨年の豪雨での避難情報で、避難場所に指定されたところに、避難用準備物が全くなかった。** (農業構造改善センター)

答：町では避難用準備物を備蓄している。避難場所等を考える。

**意見：自主防災連絡協議会の補助金が4万円では少ないと思う。**

(農業構造改善センター)

**問：・防災について、河内川上流、竹原の砂防ダムから下流の川にかけて芦が大量に生えている。想定外の雨が降るとあふれないか心配だ。予防対策をすべきではないか。**

- ・壮年会で河川内の草刈をしたことあるが、単価がとんでもなく安い。
- ・九頭竜川も柳がすごい。鳴鹿堰堤にかかるとこわい。
- ・区からは何度も陳情しているが、1級河川だから担当は町でないと言われている。

(サンサンホール)

答：・区長を通じて、何回もアピールすべき。やはり地域の人々の力も必要。  
・九頭竜川中洲の木の始末の件、木がなくなると中洲が掘られてしまうこともある。  
・木は定期的に切っているようで、ストーブなどで利用する人々に、「木の欲しい人は申し出て」のお知らせも以前より多く行なっているように思う。  
・以前、中洲の木を伐採して問題になったのは、サギの営巣地を卵やヒナのいる時に切ったからだ。  
・川の浚渫は、ひどくなればやっている。

- ・地区によっては、農地水で草刈りも自分達でやっている。

**問：・避難準備情報の時、上志比地区では数名が避難したが、単に避難しても食事や寝具はどうだったのか。情報を出すだけではいけないのでは。（サンサンホール）**

- 答：・私も避難したが、役場の職員がいて毛布とお茶を出してくれた。完備はされていたが、地域によっては差があるようだ。
- ・避難した人の確認などの筋書きはできているが、それが住民に周知されていない。その点と地域のどこに資機材庫があり備蓄されているのかも議会として言っていきたい。
  - ・東古市では、その時、民生委員が一人暮らしの人を守り、8人を永平寺中学校に避難させた。そこに職員一人が付き添っていた。ただ避難が体育館というのはどうかと思った。
  - ・だれが見てもわかるように表示も含め整備していくべきだ。

**問：防災無線は町内一本の放送になっているのか、別々にされているのか。**

**（サンサンホール）**

答：別々になっている。支所別に放送ができるようになっている。

**問：・最近の雨はひどく、川が掘れているところがある。大きな石も山の斜面に見えるが他人の土地だからどうにもならない。**

- ・河内川でもあふれるのは平地だ。**（サンサンホール）**

答：・気のついたところは、町に報告してもらいたい。

- ・河内川や南河川は県や町の事業として、これからも改修をしていく。

**問：・災害発生箇所を議会はつかんでいるのか。**

- ・山の作業道は差別されている。くずれていても対応してくれない。応急措置をしてもらいたいが。（花谷の小谷）

- ・災害は町のどこであっても不思議ではない。流域沿いの開発のあり方は考えるべき。**（開発センター）**

答：・行政はつかんでいる。永平寺町は山に囲まれており、広島であった土砂災害のように、いつ・どこで起こっても不思議ではない。そのためのマップも作られている。

- ・確かに、作業道の整備は町とは別の面もある。しかしくずれていて防災上問題となれば別だ。町に伝えていく。

## ○その他（総務常任委員会関係）

**問：今、地方創生が叫ばれているが、企業誘致で町政が潤う施策は考えているのか。**

**（農家高齢者創作館）**

答：地方創生プロジェクトチームで審議し、10月末には国に申請していく予定。

答（行政）

永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、地域資源を活用した安定雇用の創出として、次の項目に取り組むこととしている。

- 1) 大学付属病院や大学の専攻学部を生かした、医療、福祉、学術研究関連企業の進出に対する環境整備（助成制度等）をする。
- 2) 北陸自動車道と中部縦貫自動車道が連結したことで、福井北、永平寺参道、永平寺、上志比各ICを生かした企業の進出に対する環境整備（助成制度等）をする。

## ○その他（教育民生常任委員会関係）

**問：永平寺温泉の利用料金が3年目から500円になると聞かすが、現在の料金でお願いしたい。**

**（農家高齢者創作館）**

答：禅の里開設時には行政と指定管理者間でそのような約束が交わされており、今議員の中でも今後の町内利用者についての対応は町に提案している。

**問：上志比地区の九頭竜川対岸にある採石場の土砂ほこりはPM2.5被害にならないのか。**

**（上志比支所）**

答：地域の人からも苦情を聞いており、行政に報告し対策を要望していく。

## ○その他（産業建設常任委員会関係）

**問：永平寺地区のある区道で境界がわからないところがある。解消する方法はないのか。**

**（農家高齢者創作館）**

答：地元の下承が必要ですが、今、町では国の補助を受けながら地籍調査を実施しているので、地元で協議し申請してほしい。

**問：農業を守る施策について、国からの補助があると聞いている。補助を受けながらハウスなどで何の野菜を生産・出荷すれば良いか、また、林野でも地域に合った果樹は何が適しているかなどは誰に相談したら良いのか。**

**（上志比支所）**

答：専門職は町の農林課にはいないと思うが、町を通じ県に相談していただくよう報告する。

**問：大本山永平寺の観光バスの乗り入れについて、制限はできないのか。客引きや、呼び込みはやめさせることはできないのか** (農業構造改善センター)

答：・門前観光協会との調整が必要。  
・議会でも意見は出している。

**問：プレミアム商品券で、町内での分け方が片寄っていた。ありがたいものだが、上志比地区では午前中で完売してしまった。国からの金だが、やり方が乱雑ではないか。** (サンサンホール)

答：・税金でやるのだから、公平に行うことが大切。  
・今回のやり方では限度があると思う。経済的に余裕のある者ほど有利だ。余裕のない人にこそ必要な事業のはずである。  
・子どもがいる家庭には、別に支給もあった。

**要望：県道牧福島市荒川線の融雪をお願いしたい。(竹原～山王間)** (サンサンホール)

### ○その他 (議会関係)

**問：「議会と語ろう会」の参加者が減ってきている。参加増の対策が必要では。** (消防庁舎)

答：日中の開催や、サロンへ出向いての開催を検討したい。

**意見：議員選挙において公約したことを実行・実践しているのか。果たしていれば「語ろう会」は必要ない。** (消防庁舎)

答：民意を数多く聞きたいので、今後とも「議会と語ろう会」を大切にしたい。

**意見：もっと身近な問題でやってほしい。** (開発センター)

**意見：各議員個人が支援者との語る会を実施すべき。議員個人が支援者との定期的情報交換ができていれば、「語ろう会」は不要ではないか。議員は、まず真摯に支持者と話をすべき。それが先。語る会形式でするなら、テーマに基づく全議員の信条や理念を明示し、評価を受ける覚悟で臨んでいただきたい。**

(ふるさと学習館)